No.	006	_	40	001	事務	事業名	i i	生宅ねたき	きり老。	人等介護手	当支給事	業	細事	務事	業名							公的関与	5	
	課	名	1	社会福祉	:課	係	彳	3 7	高齢福	届祉係	電話	番号		089-	-964-44	106	メー	ルアト	・レス	syakaifukus	hi@cit	y.toon.eh	ime.jp	
	事業区	分	補	制金・	負担金	・支援	受	事業運営	方法	直営		実施	計画	Ī	該当	事業	期間	16	年度	~	年度	☑ 期間記	没定なし	
	総合計	画	政策	目標 第2	章 みん	なが元気	 になる	なる健康福祉のまち 政策項目 3 高齢者						策の充実 主要施策 (3) 高齢者の社会参							や自立	•健康増進等	の支援	
	事業の対			市在住の 者を介記				以上寝たきり又は重度の認知症						:令 東	温市在	:宅ね	たきり	り老丿	人等介	`護手当支	給条何	列		
	事業の目	目的	最終	冬的 者		1/2在		として、寝たきり及び認知症の高齢 介護している場合に、介護手当を支						今年度										
P			1	受給申詞	青を受	け付け	ます。	r _o						④ 認定になれば、実態調査を実施し、4・8・12月に支給します。										
LAN	活動内	容	2	申請書	質の内	容を審	査しま	きす。	0					(5)										
			③ 適否を決定し、その旨申請者に通知します。																					
				指	標名		=	計算式又は指標設定理由			単	位		平成22:	年度	平原	戊23年	丰度	平成24年	度	最終目	標		
			事業の性質上、指標設定に					認定者数(参考として認定者数を記載し					人一	標	_			_		_				
	出田七		なじまない。					ています	·)					注	68			49						
	成果指標													標										
													標											
														積										
	予算費	月	会	:計			—- 弁	₂ 安会計			費目名	7	7	小只		民生	:			費				
	直接事業費			. н т	耳	 ^Z 成	22	年度決	算	平成			 決算		平成	24		 度予	·算			<u></u>		
			国•	県支出会					千円				19 +							H24年度よ	り特別	_		
			地方債					0 千円					0 千円			0 千円								
D			その他特定財源						千円				0 千円			676 千円								
0			一般財源					2,482				2.1	46 T	_					千円					
				†(A)				2,755 千円				2,365 千円			3,4				,420 千円					
				員工数・経	費 0	0.102	人	•	千円		人	-	58 T	_	0.109	人		-	千円					
			臨時職	貴工数・経		0.000	八		千円		 		0 Ŧ	_	0.000	人			千円					
	全体事	 事業費	麦(A	+B)				3,524				3,0	23 Ŧ	_			4		千円					
	一次評価	次評価者 高齢福祉				総評価	合	Α	必要	要性 3	有効性	ŧ	4 j	達成原	度 4	効	率性	4	今後	の方向性	打	太大•充写	実	
	項目					評	Į.	価	項	目	の !	兑	明	(一次評	価者	fのコ	メン	/ / /					
			評価項目の説明(一次評価者のコメント) E介護人に対する支援事業が他になく、現在社会問題となっている「介護疲れ」等を回避し、市内の高齢者に対する福祉の充実を図るために Eです。															めに						
CH			行う事業の中で、類似・重複した事業は存在せず、介護人に対する支援として有効です。また、年3回の調査により、より厳密に手当の支給 うことができます。															支給						
ECK				党定は困 と図ってい			(在認)	定を受け	ている	の対象者に	対してに	は適り	切に支	え給事	務が行	えてい	ハます	。また	と、県	からの補助	金を	受け、事刻	業目	
• A C	効率性	要介記	養者!	こ係る介	護認定	情報等	学を参	考に支糸	決定	の認定を込	進めてい	ます	。経動	費は県	具からの	補助	金を受	とけ、	事業の	の効率を図	ってレ	ます。		
T	当面の課題	厳密力	な審査	査の下支	給を行	うってい	ますか	7、受給	者が年	三々減少し`	ているの	で市	ĩ民へ	のサ	ービス暦	見知が	求めら	うれま	きす。					
0 Z				はあります 「サービン		知を行い	ハます		事業の	の周知徹底	を図る。	にう検	討し	ます。	また、目	民生委	員、社	社会福	国祉協	議会等へは	の連絡	各を密にし	、 市	
	二次評価	西者	社	二会福祉語	果長	総評価	合 i点	Α	必要	要性 4	有効性	ŧ	4 j	達成原	隻 4	効	率性	4	今後	の方向性	3	見状維持	ŧ	
	二次記 の指摘			要介護	である。	高齢者	- を抱 <i>え</i>	こる介護者	皆に対	けする福祉	事業とし	て、こ	<u>.</u> また在	三宅介	護を推	進する	るため	に必]	要な事	事業です。				

No.	006	_	40	002	事務	事業名	1	はり、きゅ	う及びっ	マッサージ施行	 青 動 成 事	業	細事務	事業名	3						公的関	5 5	
	課	名	1	社会福祉	課	係	4	各	高齢福	畐祉係	電話	番号	08	89-964	-440	6 ×	ール	アドレ	ス syakaifu	kushi@c	ity.toon.	.ehime.jp	
	事業区	分	補	制金・	負担金	・支援	爰 4	事業運営	方法	直営	:	実施	計画	該当	á ł	事業期	間	16 年	度 ~	年度	☑ 期	間設定なし	
	総合計	画	政策	目標 第2	章 みん	なが元気	気になる	なる健康福祉のまち 政策項目 3 高齢者が					もの充分	美		Ė	主要施策 (3)高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支						
	事業の	対象	東温	市在住の)65歳.	以上の	高齢	者です。	根	根拠法令 東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費則								助成条	例				
	事業の	目的	最終					、健康年	今	年度													
Р.			1	受給資料		ら、施行	術機 関	切におい	て施術	うを受けた	書類を受	4											
Ι ∢ Z	活動内	容	2	内容を	季査し	確認しる	た上て	で、助成金	きを支	5													
			3						_														
				指	標名					は指標設定	理由	単位		平成	22年	·度 ·	平成2	23年月	度 平成2	4年度	最終	怪目標	
			事業の性質上、指標設定に					年間延べ (参考と	件	目標								-	_				
	战甲华		なじまない。					ています	·)				実績		253		1,	244					
	成果指標												目標 実績										
									+	目標													
													実績										
	予算費	目	会	:計			—	投会計			費目名	1			J	民生			1	ŧ			
	直接事業費				平	 · 成	22	年度決	算	平成		—— 年度》	——— 決算	平原		24	年度	予算		<u> </u>	<u></u> 考	<u>,</u>	
			国•	県支出会	È			0	千円				0 千円					0 千	円				
			地方債					0 千円					0 千円					0 千					
D			その他特定財源					188	千円			18	188 千円					0 千					
O			一般財源					1,065	千円			1,05	1,056 千円					00 千					
			Ē	†(A)				1,253			1,24	44 千円			1,400 千円			円					
	人件費(B)		正職員	員工数・経	費 0	.250	人	1,885	千円	0.000	人		0 千円	0.0	00	人		0 千	円				
			臨時職	は員工数・経	費 0	.145	人	247	千円	0.134	人	24	4 千円	0.1	34	人	2	51 千	円				
	全体	事業費	責(A	+B)				3,384	千円		•	1,48	8 千円				1,6	51 千	円				
	一次評价	価者	Ī	高齢福祉	:係	評価		Α		要性 3	有効性					効率			後の方向	性	現状維	掛	
	項目					評	1	価 :	項	目 (ひ !	兑 	明	(一岁	マ評値	西者σ) コ メ 	シト)				
	必要性	市内6	85歳	以上の全	ての高	高齢者/	が対象	象のため、	介護	予防の観点	気からも、	高齢	者福祉	止の推進	生に必	必要で	す。						
OIL	有効性	市には	るいて	て、類似・	重複し	た事務	8事業	はなく、ス	本事業	Éを継続し [*]	て利用さ	れてい	いる方も	多いた	こめ、	市内の	高齢	計番 福	祉の推進に	こ対して	有効で	す。	
ECK										ごス利用が													
• A C	効率性	月平均は、対	匀利月]率的	用件数は 」な事務選	約100 重営を報)件ほと 執行で	ごであ	り、現在 <i>0</i> た。	の事務	事業で十二	分です。	また、	平成2	23年度	も引き	き続きる	後期高	高齢者	広域連合	会からの	り補助金	金を受	
T I O		市内の	D65ī	歳以上の	高齢者	皆に対け	して、	本事業を	利用。	されている	方の割合	か低	いため	、本事	業の	周知循	放底を	:図りま	きす。				
N	改 革計 画	定期的	内に反	広報に掲	載し、浮			用のご案	内』を	設置する	とで、市	で 民へ	のサー	ービスの	周知	徹底を	と図り	ます。					
	二次評価	価者	社	二会福祉	果長	総評価	台 i点	А	必要	要性 4	有効性	E 4	達月	或度	3	効率	生	4 今	後の方向	性	拡大∙ኇ	注	
	二次記 の指			本事業は	よ、 65点			象とし、介	護予	坊の観点か	らも、高	齢者	福祉の	・ が推進に	有效	っです。							

No.	006	_	40	03	事務事	事業名			長寿神	况金事業		析	細事務	事業名						公的関与 5			
	課	名	礻	生会福祉	課	係	名	青	高齢福	祉係	電話者	肾号	08	39-964-4	406	メー.	ルアド	レス	syakaifukushi@o	city.toon.ehime.jp			
	事業区	☑分	補	前助金・負	担金	支援	事	 業運営:	方法	直営	3	上 医施言	計画	該当	事業	其期間	17	年度	~ 年度	■ 期間設定なし			
	総合討	画	政策	目標 第2章	き みんれ	なが元気に	こなる健康	なる健康福祉のまち 政策項目 3 高齢者が					その充分	Ę		主要	施策	命者の社会参加や自	立・健康増進等の支援				
	事業の	—— 対象		4月1日現 99歳の誕				市内に1年以上在住の77歳、88 方です。						根拠法令 東温市長寿祝金支給事業支給規則									
	事業の	目的	最終			、米寿8 円を支続		歳、白寿99歳の節目に、各1万円、3 します。															
Р -			1	対象者に	支給	申請書る	ど送付し	送付します。															
ZÞI	活動内	容	2	申請書提	出後	、祝金を	指定口	定口座に振り込みます。															
			3											T-100			+00.5		T-1015				
				指	標名			計算式 当者数	なり	指標設定	E埋田	単位		平成22	牛皮	十十月	戊23年		平成24年度	最終目標			
	-t- m +t-	· 1=	事業の性質上、指標設定に なじまない。							け象者数を	と記載し	人	実績	519			540		_	_			
	成果指	1保											目標			<u> </u>							
													実績目標										
													実績										
	予算費	日	슫	計			一般会	全計			費目名		天祖		民生	:			費				
	TAR	. H		п	亚	成 2		手度決	笛	平成			夬算	平成	24		度予	笛	^艮	<u></u>			
	直接事業費 人件費(B)		国•	 県支出金		1% L			千円	1 750	20		ハ <u>チ</u> 0 千円		21			千円	cnvi	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
			地方債					0 千円										千円					
D			その他特定財源					千円				0 千円 0 千円					千円						
0			一般財源				8,813			1		3 千円			10),586	-						
				計(A)				8,813 千円					3 千円		10,586 千円								
				<u>・・・・・</u> 員工数・経費	0.	.104		-	千円	0.109	人	•	8 千円		人		659						
			臨時職	員工数・経費	0.	.000			千円	0.000	人		0 千円		人		0	千円					
	全体	事業費	b 貴(A	+B)				9,597	千円		1	0,82	1 千円			11	,245	千円					
	一次評価者		Ī	高齢福祉 値	系	総合評価点	<u> </u>	А	必要	性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効	率性	3	今後	の方向性	現状維持			
	項目					評	価	į Į	<u>頁</u>	目 (の - ii	ź	明	(一次訂	平価者	のコ	メン	F)					
		老人神要でで																いくために必					
CH	有効性	高齢	者の長寿を祝い、多年の社会貢献に敬意を表するために有効です。また、該当者に対して類似する事業がなく、有効です。																				
ECK	達成度	目標作	直の割	役定は困難	誰です	が、該当	省者に1	は全員	支給で	ごきており	、事業目	標は	達成し	ています。									
. A	効率性	市の追	単独事	事業であり	、年々	コストが	増加し	していま	きす。対	対象者を核	€討してい	く必	要があ	ります。									
-	当面の 課 題	今後多	対象者	が増加っ	ける可	能性が高	高く、支	て給規貝	則の見	直し等検	討してい	く必勇	更があり	ます。									
0 Z	改 革計 画	本事	業のま	 左給対象者	皆及び			かいて、	引き続	き検討を	行います	0											
	二次評	価者	社	会福祉課	 !長	総合評価点		А	必要	性 4	有効性	4	達月	戊度 4	効	率性	3	今後	の方向性	現状維持			
	二次記 の指			高齢者の	長寿	1)社会貢	貢献に	敬意を表	するため	に有	効な事	業です。									

No.	006		40	04	事	務事業	名	緊然	急通報	体制整備	事業		細	事務	事業名	3						公的関与	5		
	課	名	礻	社会福	国祉課	. 係	Ŕ	名	高齢	畐祉係	電話	番	<u> </u>	08	39-964-	-440	6 メ-	ールア	ドレス	syakaifukusl	ni@cit	y.toon.ehin	ne.jp		
	事業区	分	補	前助金	· 負担	担金・支	援	事業運営	営方法	一部委	託	実加	を計i	画	該当	<u> </u>	事業期間	16	年度	~ :	年度	☑ 期間設定	定なし		
	総合計	画	政策	目標	第2章	みんなが元	元気にな	なる健康福祉のまち 政策項目 3 高齢者が						策の充実主要施						(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援					
	事業の	対象	75歳	以上(の独居	『高齢者	またに	は高齢者の	4	退拠:	法令	東温市	「緊急	急通報装	美置 設	置要約	跗								
	事業の	目的	最終			時の連絡 図ります。	体制	を確保する	ることて	で、高齢者	畐祉の扌	隹	今年度												
P			1	サー	ビス利	月用の申記	青書を	受け付け	します		④ 課税状況に応じて、個人負担金を徴収します。														
Z	活動内]容	2	必要	な事項	質を調査	し、利	用の可否を決定します。																	
			3	決定	後、委	託業者	が機器	器の設置を行います。																	
					指標	名				は指標設定	定理由	Ì	单位		平成	22年	度平	成23	年度	平成24年	度	最終目	標		
			事業の性質上、指標設定に					設置台数 (参考として利用者数を記載し						目標	-	_		_	_	_					
	+ 田 + 七		なじまない。					(多名として利用有数を記載しています。)						実績	1	18		14	0						
	成果指標													目標実績											
							+						目標												
													_	実績											
	予算費	目	会	計			_	一般会計			費目	名					民生			費					
	直接事業費					平成	22	年度》	——— 快算	平成			き決:	算	平成	<u> </u>	24 -	F度 ⁻	 予算	備		 考			
			国•	県支	出金			() 千円				0	千円					0 千円						
			地方債					0 千円					0 千円 0 千円												
D			その他特定財源					1,436	6 千円			1,	1,118 千円					1,100 千円							
0			一般財源				3,290) 千円			2,0	2,617 千円 3					3,53	7 千円							
		Ē	+(A))			4,726	6 千円			3,	735	千円				4,63	7 千円							
	人件費(B)		正職員]工数・	• 経費	0.105	人	791	1 千円	0.109	人	(358	千円	0.10	09	人	65	9 千円						
			臨時職	員工数	・経費	0.000	人	() 千円	0.000	人		0	千円	0.00	00	人		0 千円						
	全体	事業費	責(A	+B)			5,517	7 千円		•	4,3	393	千円			•	5,29	6 千円						
	一次評价	価者	ļ	高齢福	冨祉係	総評	合 価点	А	必要	要性 3	有効怕	生	4	達瓦	戊度	4	効率性	4	今後	の方向性	Ę	見状維持			
	項目						評	価	項	目(の	説	E	明	(一次	で評り	価者の	コメ	ント)						
	必要性	市内高	高齢者	者の見	見守りか	ぶ綿密に	行われ	いておりま	す。独	居高齢者の	の申請な	が増え	えてこ	おり、	引き続	き事	業の必	要性	を多分	に実感してい	ハます	0			
CII	有効性	高齢を	者の緊	緊急時 平成2	テの連続 23年度	絡や迅速からの、	を対対 警備	応、安否碌 員による駅	を認を なけつに	進めていく ナサービス	ため有意により協	効な 引力員	事業	です 負担が	。年数が軽減る	回のされる	緊急連ました。	絡がる	あり、協	力員等を通	iυ, i	迅速に対応	芯し		
ECK	達成度	目標信	直の割	受定は	上困難 🖰	ですが、	高齢君	者の夜間等	等の不	安感や、独	居老人	の多	子否	雀認等	等を実力	施可	能であり	、事	業目標	は達成でき	ている	るといえま	す。		
• A C	効率性	平成2	3年月	度委託	£業者	を変更し	たこと	により、設	置から	対応、撤長	去まで変		りに	行われ	れてい	ます。	o								
TIC		引き紡	売き、「	市民に	こ対し	本事業の	周知	を図るとと	もに、	各担当地区	区の民生	上委」	員へ <u></u>	Ø→;	部情報	の開	引示を行	い協力	力を求	めます。					
Z	改 革計 画	民生刻	委員会	会での)事業			国祉協議:3 	会を通	じた事業の	周知徹	(底を	2図り	ます	0										
	二次評价	価者	社	会福	祉課長	€ 総 評・	合 価点	А	必要	要性 4	有効性	生	4	達瓦	戈度	4	効率性	4	今後	:の方向性	3	見状維持			
	二次記 の指			独居	高齢者	•		の連絡、多	子否確認	認を行うこと	こにより、	安心	`安	全な乳	暮らしを	≥確付	呆するた	めに	必要な	事業です。					

公的関与 事務事業名 No. 006 4005 地域包括支援センター活動支援事業 細事務事業名 5 社会福祉課 電話番号 メールアドレス syakaifukushi@city.toon.ehime.jp 課 名 係 名 高齢福祉係 089-964-4406 事業期間 19 年度 ~ 事業運営方法 実施計画 事業区分 ソフト事業 全部委託 該当 年度 ☑ 期間設定なし 総合計画 |政策目標||第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち | 政策項目 | 3 高齢者施策の充実 主要施策 (3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援 市内の在宅介護支援センターである、ウェルケア重信及びガ 事業の対象 根拠法令東温市地域包括支援センター活動支援事業要綱 リラヤ荘です。 今年度 事業の目的 | 最終的 |市内の高齢者福祉の増進を図ります。 **4** (1) |委託契約を締結します。 P **(5)** 活動内容 ② |委託料を年2回に分けて支払います。 N ③ 毎月委託事業所から実績報告を受け付けます。 平成22年度 平成24年度 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成23年度 最終目標 目標 事務の性質上、指標設定になじ まない。 実績 成果指標 目標 実績 目標 実績 予算費目 一般会計 費目名 民生 会計 費 年度決算 年度予算 平成 22 平成 23 年度決算 平成 24 備 考 国・県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 5,376 千円 5,376 千円 5,376 千円 計(A) 5,376 千円 5,376 千円 5,376 千円 正職員工数・経費 0.097 0.109 731 千円 658 千円 0.109 659 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.000 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 0 千円 全体事業費(A+B) 6,107 千円 6,034 千円 6,035 千円 合 今後の方向性 一次評価者 有効性 効率性 現状維持 高齢福祉係 必要性 達成度 Α 4 評価点 項 目 説 項目 価 の 明 (一次評価者のコメント) 市内高齢者の相談窓口として活動を委託しており、高齢者実態把握調査を行う上で必要です。また高齢者に対してサービスの周知、申請書提 必要性 出代行を行い、福祉サービスの推進のために必要です。 C |有効性||情報の収集が困難な高齢者に対し、ブランチは有効です。 高齢者福祉の充実を促進していくために、活動内容は適切です。 Н Ε **達成度** 目標値の設定は困難ですが、サービスの周知徹底を行い、市内高齢者福祉の推進を図ります。 C サービスの申請時には利用者の基本情報の提供を委託しており、円滑な事業運営が進められています。また、専門のノウハウを所有しているた 効率性 め、効率的な事業運営を進めることができます。 C **当面の** 委託事業所との連絡を密に行い、市民に対する福祉サービスの周知徹底及び充実が求められます。また、委託事業所もサービス内容の周知徹 課 題 底が求められます。 0 改 革 市の包括支援センターと連携して、市内高齢福祉の充実を図ります。 N 計 合 有効性 今後の方向性 二次評価者 社会福祉課長 必要性 達成度 効率性 現状維持 4 評価点 二次評価で 市内高齢者の実態把握業務を委託し、高齢者施策の充実を図るため必要な事業です。 の指摘事項